

琉球大学学術リポジトリ

教員採用試験対策セミナーのサポートと事前後学習支援 – 取組内容と成果報告について –

メタデータ	言語: ja 出版者: 琉球大学大学グローバル教育支援機構 公開日: 2022-05-18 キーワード (Ja): 教員採用試験対策セミナー, 学習支援 キーワード (En): 作成者: 廣瀬, 等, 砂川, 力也 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.24564/0002017933

教員採用試験対策セミナーのサポートと事前後学習支援 －取組内容と成果報告について－

廣瀬 等、砂川 力也
琉球大学 教育学部

要 旨

琉球大学教育学部における、沖縄県教員候補者選考試験に向けた取り組みである認定試験と沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラム（前期・後期）について紹介し、特にセミナープログラムは、詳細に紹介した。さらに、令和2年度に、事業名「教員採用試験対策セミナーのサポートと事前後学習支援」で大学より教育改善等支援経費を受けた取組内容とその成果について詳細に述べるために、後期の沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラムの教職教養・一般教養の問題対策セミナーでの取り組みと、実技試験の傾向と対策（二次試験対策）の「体育（マット運動）」について取り上げた。表題「教員採用試験対策セミナーのサポートと事前後学習支援」に直接関係する「体育（マット運動）」のセミナーについては、セミナーの概要と必要性、学生アシスタントの役割、利益性の観点から、さらに詳細に報告を行った。

キーワード

教員採用試験対策セミナー、学習支援

1 はじめに

琉球大学教育学部では、学生生活委員会に「就職推進部会」、「課外活動・生活支援部会」を設置し、学生の教員候補者選考試験受験に向けては、就職推進部会の「認定試験WG」、「教員採用試験対策WG」において対応している。教員就職率は、教育学部にとって主要な評価指標であり、その向上は常に求められる重要課題となっており、これまでも学部全体で取り組んできた。認定試験WGでは、教員候補者選考試験の模擬試験の実施のため、教育学部の教員に問題作成を依頼し、取りまとめ、学生に対して試験を実施し、学生と教員に結果のフィードバックを行っている。これにより、教員は問題作成にあたり教員候補者選考試験の現状を認識し、試験の結果からは学生の理解状況の把握ができ、さらに、それを授業に生かすことができる。学生は3、4年次を対象としており、3年次にとっては試験結果により、今後の受験に向けた動機づけを高め、4年次にとっては、教員候補者選考試験の3カ月ほど前の実施により、自分の学習状況の把握に役立ち、試験に向けた最終調整への効果を期待できる。認定試験については、その概要や効果について、廣瀬(2010)に詳しく示されている。

また、教員採用試験対策WGでは、沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラムを、

前期と後期に実施している。前期は主に4年次を対象とした、7月の沖縄県教員候補者選考試験に向けたセミナーであり、後期は主に3年次を対象とした、次年度に迫った沖縄県教員候補者選考試験に向けたセミナーとなっている。令和2年度には、本セミナープログラムに対して、事業名「教員採用試験対策セミナーのサポートと事前学習支援」で大学より教育改善等支援経費を受けており、本報告では具体的な取組内容とその成果について報告する。

2 教員採用試験対策セミナーの概要

2.1 前期の沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラム

前期の沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラムは、7月の沖縄県教員候補者選考試験に向けて、一次試験対策と二次試験対策のプログラムを実施している。一次試験対策では、教員候補者選考試験に向けて学習している中で質問がある場合、教員に対して質問ができるよう、きめ細かく対応している。具体的には、教科等については、指導案(算数)、指導案(国語)、国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、体育、家庭、外国語活動、特別支援、県条例を設定し、実施方法については、メール制(メールで担当教員あるいは世話人に質問)、オフィスアワー制(事前予約なしで設定時間に直接講師を訪問)、窓口制(事前に世話係教員に連絡)のうち、教員が指定するいずれかの方法で実施している。また、二次試験対策は、沖縄県教員候補者選考試験の一次試験の合格発表後に実施され、令和2年度は、音楽実技試験補習(オルガン・リコーダー)、英語による個人面接指導、模擬授業及び個人面接が実施された。

2.2 後期の沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラム

後期の沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラムは2月に実施され、主に3年次を対象とした、次年度に迫った沖縄県教員候補者選考試験に向けたセミナーであり、受験に向けた動機づけを高めるためにも重要なセミナーとなっている。令和2年度は、まずオリエンテーションとして、求められる教師の力量の説明や、教員候補者選考試験の概要等についての説明が行われた。その後、以下のような対策セミナーが実施されている。教職教養の問題対策として、教育原理分野(教育の目的と思想)、教育法規分野、教育心理分野、教育原理分野(教育課程・教育方法)、沖縄編(沖縄の歴史と文化)の各内容、一般教養の問題対策として時事問題編(新聞を読む)、実技試験の傾向と対策(二次試験対策)として体育(マット運動)、論作文として論文の書き方、論文の添削指導である。

今回、教職教養・一般教養の問題対策セミナーにおいて、セミナーを受講したいが新型コロナウイルス感染症への不安を申し出る受講希望学生がおり、そのような学生向けにということで、すべての教職教養・一般教養の問題対策セミナーをビデオ録画し、要請に応じて貸し出すことにした。また、受講者についても、アルコールジェルやペーパータオルを準備し、座席位置や換気など感染防止対策を徹底した上でセミナーを開催した。教育改善等支援経費は、その際にも使用されている。また、今回の表題にもなっている「教員採用試験対策セミナーのサポートと事前学習支援」については、実技試験の傾向と対策(二次試験対策)として「体育(マット運動)」が実施されたが、そこで学生2名を雇用して、セミナーのサポートと事前学習支援を行ってもらった。その具体的な取組内容と成果については、次に詳しく述べる。

3 実技試験の傾向と対策（二次試験対策）「体育（マット運動）」

3.1 実技試験の傾向と対策（二次試験対策）「体育（マット運動）」について

沖縄県教員採用候補者選考試験対策セミナー（前期・後期）では、これまで実技試験の必修科目である体育（水泳、マット運動）の指導およびサポートを行ってきた。2月に行われる後期の沖縄県教員採用候補者選考試験対策セミナーでは、プールの使用が不可となるため、マット運動を中心に2時間程度の講習内容を実施している。このセミナーでは、近年の実技試験の傾向と対策について、既卒合格者からの情報や所感、あるいは、実技得点結果と合格者の技能レベルを踏まえて、セミナー参加者へのアドバイス等を行っている。これらの指導は、教育学部の保健体育専修の専任教員が担当することとなるが、同専修の学生がアシスタントとして参加しており、セミナーで質の高い指導補助と安全管理の一助となっている。以下に、「体育（マット運動）」のセミナーの概要と必要性、「体育（マット運動）」での学生アシスタントの役割、さらに、「体育（マット運動）」のセミナーの利益性について述べる。

3.2 「体育（マット運動）」のセミナーの概要と必要性

沖縄県での小学校教員の教員採用候補者選考試験では実技科目の音楽と体育が必須である。このうち体育の水泳とマット運動では、技能の差が明白になる場合もしばしば見受けられることから、実技試験の事前対策として極めて重要な位置づけとなっている。現在のマット運動では、計6種目の技（①側方倒立回転、②前転、③開脚後転、④後転、⑤片足正面水平立ち、⑥ロンダート、ポーズ）を連続して行う演技課題が試験内容となっており、比較的、簡易な技から大幅に減点されやすい技が含まれることから、いわゆる「一夜漬け」での技能習得はかなり困難と思われる。そこで、マット運動のセミナーでは技の精度を高める事を中心にポイントを絞り、「実技試験」としての見栄えや、減点されにくいテクニックなどについて教示している。特に、①側方倒立回転と⑥ロンダートについては、技の精度によって大きく減点される対象となるため、重点的に指導を行っている。

3.3 「体育（マット運動）」での学生アシスタントの役割について

「体育（マット運動）」のセミナーでは、毎回、指導補助を担う保健体育専修の学生を2～3名程度配置している。令和2年度は教育改善等支援経費により、2名の学生を配置した。具体的な作業については、まず、事前準備と事後整理を行っており、マット運動教材の点検と会場設営などが挙げられる。とりわけ、マット1枚の重量は約40kgであり、かつ、本学の第一体育館内の保管場所からの出し入れについては、日頃より教材の扱いに慣れている者でないと時間的コストがかかる上で、安全管理上の問題点も危惧される。また、マットの保管方法（具体的には、マットの重ね方等）のノウハウについても熟知している学生が適任となる。したがって、セミナーを安心・安全に実施する上でも学生補助の位置づけは重要であると考えられる。

次に、実技指導に関する学生アシスタントの役割であるが、基本的には技全体の基本構造の教授や実践者としての見本、所感、コツの伝授等が挙げられる。また、スマートフォンやタブレットなどICTを活用し、即時にフィードバックを行うなど、セミナー参加者が充実した練習が行えるような環境を提供している。この「体育（マット運動）」のセミナーでは、多い時で30名

を超える参加者となっており、丁寧な指導を行う上で、専任教員1名では、どうしても限界がある。学生アシスタントの存在は、これらの学習の質を担保することを意味し、教員候補者選考試験の合格率に寄与する可能性を踏まえれば、彼らの役割は極めて重要であると考えられる。

3.4 「体育（マット運動）」のセミナーの利益性

「体育（マット運動）」のセミナーの利益性については、まず、学生アシスタントの存在によって、大規模での実技指導の一助となる。これは、教員にとっては安全管理と指導機会の拡充の観点から非常に有益であり、セミナー参加学生にとっては専門的なアドバイスが多く得られること、安心してセミナーに参加できることが何よりも多くの学習効果となる。「体育（マット運動）」のセミナーでの学生アシスタントには原則、保健体育専修の3年次以上の学生に依頼をしている。その理由として、すでにマット運動に関する高い技能を有していること、今後の教育実習等における指導法を考究できる場となることが期待されることである。また、学生同士の学び合いの場となることから、教員、セミナー参加者、学生アシスタントの三者にとって有益性の高い機会であると考えられる。

4 おわりに

琉球大学教育学部は、沖縄県で唯一の教員養成学部として、沖縄県の教員養成に対して、地域・現場からの要請を受け止めつつ最大級の責任を持ちつづけることを任務とし、「沖縄の子どもの学びと育ちを支える」学校教員養成の役割を持続的に果たすべく、学生の教育を行っている。教員就職率は、教育学部にとって主要な評価指標であり、その向上は常に求められる重要課題となっており、これからも学部全体で取り組むべき課題である。その具体的な取り組みの1つが沖縄県教員候補者選考試験に向けた取り組みである認定試験と沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラムである。本報告では、認定試験と沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラムについて紹介し、特に沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラムについては、詳細に紹介した。さらに、令和2年度に、事業名「教員採用試験対策セミナーのサポートと事前学習支援」で大学より教育改善等支援経費を受けた取組内容とその成果について詳細に述べるために、後期の沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラムの教職教養・一般教養の問題対策セミナーでの取り組みと、実技試験の傾向と対策（二次試験対策）の「体育（マット運動）」について取り上げた。表題「教員採用試験対策セミナーのサポートと事前学習支援」に直接関係している「体育（マット運動）」のセミナーについては、セミナーの概要と必要性、学生アシスタントの役割、利益性の観点から、さらに詳細に報告を行った。今後も、琉球大学教育学部では認定試験と沖縄県教員候補者選考試験対策セミナープログラムを含む、沖縄県教員候補者選考試験に向けた取り組みの充実を図っていく予定である。

参考文献

廣瀬 等「学生の教員資質向上のための認定試験制度の検討(1)－基礎力の評価について－」
『琉球大学教育学部 教育実践総合センター紀要』17号、2010年、135-142頁。